

エコアクション21

八千代市環境活動レポート

(平成28年度実績)



オーエンス八千代市民ギャラリーで
平成28年度作品展
～八千代の自然環境 グリーンカーテン～を開催



平成30年1月 発行

八千代市

目次

環境活動レポートの位置づけ	2
第1部. 組織の概要と環境方針, 活動計画	
1. 組織の概要	
(1) 八千代市の概要	3
(2) 認証・登録内容	3
(3) 環境経営管理推進組織図	5
2. 環境方針	6
3. 環境活動計画	
(1) 取組項目	7
(2) 職員向け研修等	8
第2部. 地球温暖化防止に向けた基本的な取り組み	
第1章. 自らの環境負荷を低減させる取り組み	
1. 各エネルギー等利用実態調査の結果	
(1) 電力・燃料, 水使用量, コピー用紙及び廃棄物量	9
(2) 温室効果ガス(二酸化炭素)排出量	10
(3) 化学物質の管理	10
(4) グリーン購入の推進	11
(5) 再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入	11
(6) 業務における取り組み	12
2. 参考資料	
(1) 温室効果ガス排出量の算定に関する排出係数	13
(2) 八千代市の一般廃棄物における廃プラスチック類の年度推移	13
(3) 八千代市の気象	14
第2章. 地域の環境保全・創造に向けた取り組み	15
第3部. 環境関連法規の遵守状況	17
第4部. 各所属における環境活動目標と達成状況の自己評価	21
第5部. 平成28年度実績のまとめ及び代表者による全体の評価と見直し	
1. 平成28年度実績のまとめ	41
2. 代表者による全体の評価と見直し	42

環境活動レポートの位置づけ

本市の環境活動レポートは、「エコアクション21 地方公共団体向けガイドライン 2009年版」に基づいて定めた環境方針に則して、取り組み、法規及び目標等について平成28年度の報告をまとめています。

また、一部、「八千代市第2次環境保全計画」及び「八千代市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」(※)等に関連する計画の進捗状況についても報告しています。

第1部. 組織の概要と環境方針, 活動計画

1. 組織の概要

(1) 八千代市の概要

昭和42年1月1日に市政を施行した八千代市は、日本の大規模住宅団地の発祥の地である八千代台団地（昭和32年完成）の造成を契機に大規模団地の建設が進み、昭和50年の国勢調査では、人口10万人以上の市で全国一の人口増加率を示しました。一時は全国で有数の人口急増都市になりました。

市の北側半分は、下総台地の緑豊かな自然があり、南側半分は、森を残し、緑の景観に配慮した市街地が形成されています。

また、市の中央には八千代市のシンボル「新川」が南北に悠々と流れ、人々は釣りや散策を楽しんでいます。八千代市は、首都30km圏の位置と交通の便、自然環境の良さから首都圏のベッドタウンとして急激に発展してきました。平成8年4月、都心に直結する東葉高速鉄道が開通し、新しい駅を中心に開発が進められ、今後もさらに発展が見込まれています。

八千代市第4次総合計画において、八千代市の将来都市像を「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市 八千代」と定めて、この将来像を実現するために、6つの柱をたて、まちづくりを進めています。

1. 健康福祉都市をめざして
2. 教育文化都市をめざして
3. 環境共生都市をめざして
4. 安心安全都市をめざして
5. 快適生活都市をめざして
6. 産業活力都市をめざして

人口	196,144人	面積 : 51.39 km ² (東西 8.1 km, 南北 10.2 km) (平成 29 年 3 月 31 日現在)
男	97,194人	
女	98,950人	
世帯	85,884世帯	

(2) 認証・登録内容

- ① 認証・登録番号 : 0003458 (認証・登録日 : 2009年3月30日)
- ② 認証登録事業者 : 自治体名 八千代市役所
代表者 八千代市長 服部 友則
- ③ 所在地 : 千葉県八千代市大和田新田 312-5 (TEL 047-483-1151)
- ④ 総括環境経営管理責任者 : 八千代市安全環境部長 天川 一夫
- ⑤ 環境経営管理事務局 : 八千代市安全環境部環境保全課環境政策室
- ⑥ 事業活動の内容 : 八千代市の行政活動
- ⑦ レポート対象期間 : 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 29 年 3 月 31 日
- ⑧ 事業の規模 : i. 職員数 1,313人 (平成 29 年 3 月 31 日現在, 特別職 3人を含む)
ii. 対象施設 129施設 (平成 29 年 3 月 31 日現在) 表 1
iii. 延べ床面積 373,321m² (平成 29 年 3 月 31 日現在) 表 2
- ⑨ レポート発行日 : 平成 30 年 1 月 16 日

表 1. 認証・登録の対象施設一覧

市長部局		
<ul style="list-style-type: none"> ・八千代市役所（本庁舎） ・多文化交流センター ・市民活動サポートセンター ・支所，連絡所（7か所） ・市営霊園 ・保健センター ・障害者福祉センター ・児童発達支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園（8園） ・児童会館（3館） ・子ども支援センターすてっぷ21（2か所） ・公民館（9館） ・八千代台東南公共センター ・図書館（2館：大和田，八千代台） ・文化伝承館 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ガキ大将の森」キャンプ場 ・青年館（4か所） ・上高野多目的グラウンド ・男女共同参画センター ・消費生活センター ・衛生センター ・清掃センター ・福祉施設（3か所）
(指定管理者制度導入施設)		
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉センター ・ふれあいプラザ ・八千代市第1，2，3福祉作業所 ・総合生涯学習プラザ ・市民ギャラリー 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館（3館：中央，勝田台，緑が丘） ・総合グラウンド ・市民会館 ・八千代台文化センター ・勝田台文化センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民体育館 ・八千代台近隣公園小体育館 ・勝田台中央公園小体育館 ・ふるさとステーション ・農業交流センター
教育委員会		
<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会庁舎 ・郷土博物館 ・小学校（22校） ・中学校（11校） 	<ul style="list-style-type: none"> ・少年自然の家 ・教育センター ・適応支援センターフレンド八千代 ・青少年センター 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食センター村上調理場（PFI 導入施設） ・給食センター西八千代調理場
消防本部		
<ul style="list-style-type: none"> ・消防本部庁舎 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央消防署 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防署（4か所）
上下水道局		
<ul style="list-style-type: none"> ・上下水道局庁舎 ・浄水場（6か所） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポンプ場（2か所） ・村上給水場 	

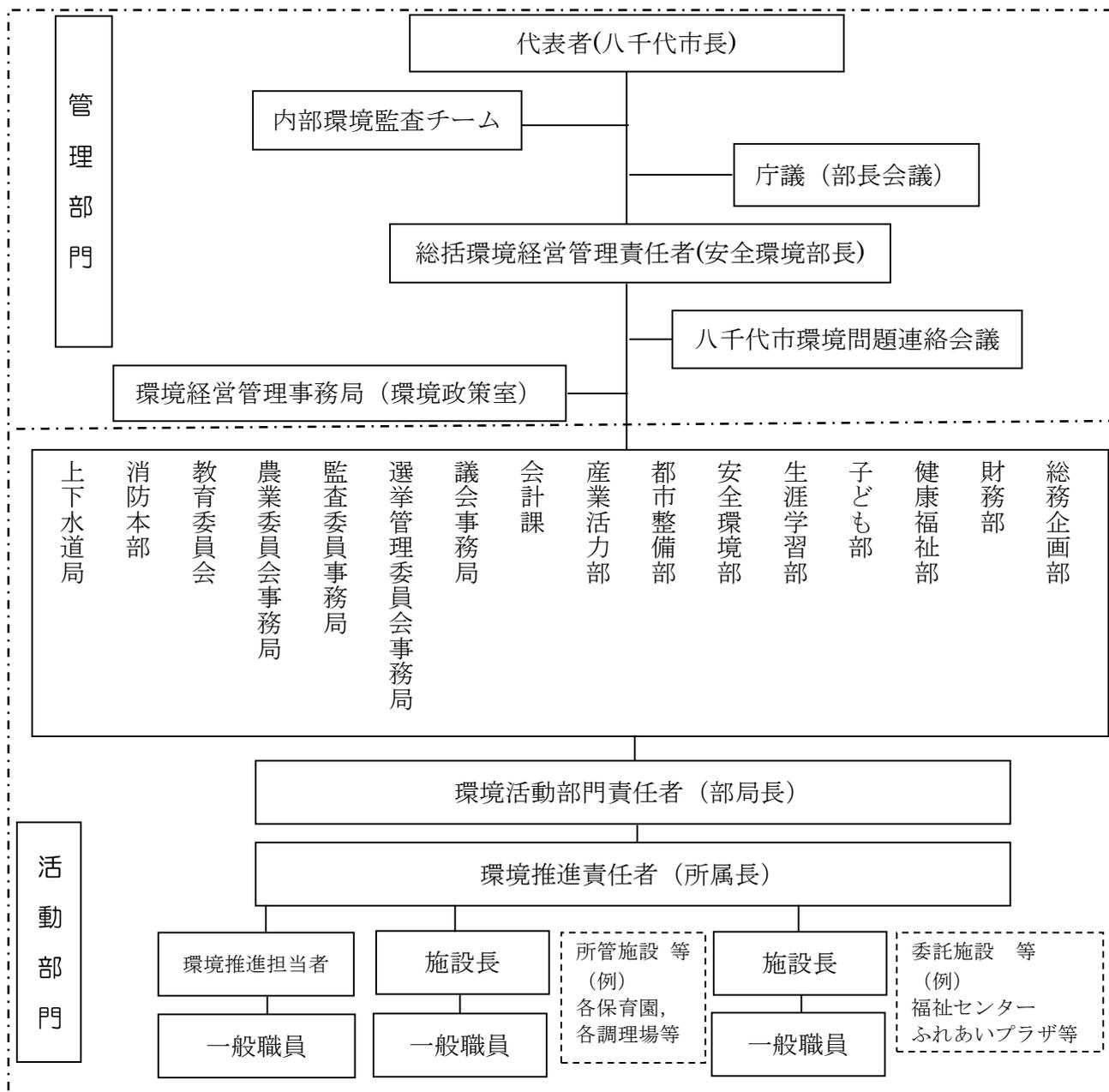
※施設の名称は，平成 29 年 1 月発行の「八千代市市民便利帳 2017・2018」を参照。

表 2. 認証・登録対象範囲施設の延べ床面積一覧（小数点以下第 1 位を四捨五入）

施設名	面積 (㎡)	施設名	面積 (㎡)
本庁舎	13,293	公民館・公共センター(10)	5,839
支所・連絡所(7)	923	図書館(5)	8,582
保育園(8)・児童会館等(5)	8,829	学校給食センター(2)	7,616
保健センター	1,977	上下水道局(浄水場等10か所)	9,236
清掃センター	11,160	消防本部・消防署	6,561
教育委員会庁舎	3,044	福祉施設	5,902
小・中学校(33)	221,118	生涯学習施設	35,772
教育委員会施設	6,571	その他	26,897

※「建物財産明細台帳」より

(3) 環境経営管理推進組織図



- ① 環境経営管理推進組織は、管理部門および活動部門で構成する。
- ② 管理部門は、次に掲げる者および組織で構成する。
 - ア 代表者 (市長)
 - イ 内部環境監査員 (次長級)
 - ウ 庁議 (部長級)
 - エ 総括環境経営管理責任者 (安全環境部長)
 - オ 八千代市環境問題連絡会議
 - カ 環境経営管理事務局 (環境政策室)
- ③ 活動部門は、次に掲げる者で構成する。
 - ア 環境活動部門責任者 (安全環境部長以外の部局長および安全環境部次長)
 - イ 環境推進責任者 (所属長)
 - ウ 環境推進担当者 (各部署 1名)
 - エ その他全職員 (再任用・臨時職員等を含める)

2. 環境方針

環 境 方 針

1 基本理念

八千代市第2次環境保全計画で示している「自然と人のくらしが持続的に調和するまち」を環境の基本目標として、私たちは日常の生活や都市活動のあり方を身の回りから見つめ直す必要があります。また、市、事業者および市民のすべての者の協力によって、人と自然が共生し、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を目指していかなければなりません。

そこで、全職員が一丸となり、率先して環境意識の自覚と実践を確保するとともに、地球温暖化防止に向けた環境保全活動に取り組みます。

2 基本方針

基本目標の実現に向けて4つの基本方針を掲げ、環境先進都市づくりを推進します。

- (1) 持続可能な循環型のまちをつくる
- (2) 安心・安全な生活環境を保全する
- (3) 自然と共生するまちをつくる
- (4) 市民・事業者とともに実践する

3 基本的な取り組み

基本方針に沿って、次のことに取り組みます。

- (1) 自らの環境負荷を低減させる取り組み
 - ① 電力・燃料の消費及びごみ焼却等に伴う二酸化炭素等温室効果ガス排出量の削減
 - ② 廃棄物の削減のため、4R(リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ)の推進
 - ③ 水資源の節減
 - ④ グリーン購入の推進
 - ⑤ 新エネルギーの導入・利用と省エネルギー活動の推進
 - ⑥ 企画・設計段階における、①～⑤の優先した取り組み
- (2) 地域の環境保全・創造に向けた取り組み
 - ① 4Rの視点から、循環型社会の構築を目指す
 - ② 谷津・里山や生物多様性の保全推進
 - ③ 環境学習の推進
- (3) 環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守するとともに、環境汚染の予防に努めます。
- (4) 環境方針及び実施成果を全職員に周知するとともに、環境への取り組みを環境活動レポートとして取りまとめ、広く一般にも公表します。



平成29年3月31日

八千代市長 秋 景 就 一

3. 環境活動計画

(1) 取組項目

環境方針に則り、地球温暖化防止に向けた主に 28 項目の取組みを推進します。推進にあたっては、COOL CHOICE (クールチョイス)「賢い選択」*運動を推奨します。

二酸化炭素の削減	
○電気使用量の削減	①空調設備の適切な温度設定(冷房 28℃, 暖房 20℃) ②ノー残業デーの推進 ③ウォームビズ・クールビズの推進 ④LED 照明の普及推進
○用紙類使用量の削減	①会議資料の簡素化, 印刷部数の適正化の徹底 ②ペーパーレス会議の推進
○公用車燃料の削減	①九都県市指定の低公害車の導入 ②公用車台数の見直し ③スマートムーブの推進 (エコドライブ・公共交通機関・自転車の利用等) ④定期的な車両整備の実施
○ガス・重油・灯油等の使用量の削減	①施設を利用する市職員の意識向上及び市民への普及啓発 ②定期的な点検の実施
○市職員及び施設管理者への省エネルギー活動の普及啓発	
○里山整備等による森林吸収源の確保の推進	
○市民・事業者向けの環境学習(講座)等の実施	
廃棄物の削減	
○ごみの分別収集の推進 ○4R(リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ)の推進 ○廃棄用紙類の減量 ○給食における食品残さの減少	
水資源の節減	
○日常的な節水の励行 ○水使用施設の適正管理	
グリーン購入・環境配慮契約の推進	
○グリーン購入・環境配慮契約の周知徹底と推進 ○適正, 適量調達	
化学物質の適正使用	
○化学物質の使用量, 保管量等の経時的な把握及び適切な記録・管理 ○定期的な有害物質保管用のタンク, パイプ等の保守・点検 ○有害物質の保管等にあたっての事故や災害時等の緊急事態を想定した, 汚染防止のための対応や訓練の実施	
再生可能エネルギーの導入・利用と省エネルギー活動の推進	
○施設の修繕・改修や新築時における, 再生可能エネルギー・省エネルギー設備導入 ○市民・事業者向けの省エネ行動の情報提供	

*COOL CHOICE (クールチョイス)「賢い選択」

平成 27 年 7 月 1 日から始まった新国民運動。

「2030 年度 26%削減」目標を達成するため, 省エネ・低炭素型の製品/サービス/行動などあらゆる「賢い選択」を促す国民運動。



未来のために、
いま選ぼう。

(2) 職員向け研修等

研修名称	対象	実施回数
環境推進担当者研修	環境推進担当者（全部署各1名選任）	年1回
内部環境監査員研修	内部環境監査員・内部環境監査員候補者	

調査等名称	対象	実施回数
上半期エネルギー調査	全部署	年1回
年度末エネルギー調査	全部署	
内部環境監査	前回審査関連部署 他	

